

陸上競技部 鈴木一葉さん

関東インカレ2000m 3位

国際貢献の夢に向けて秋からオランダ留学へ



懸命にゴールを目指す鈴木さん (左から3番目)

5月に行われた第10回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)で、女子1部2000m決勝に出場し、見事3位の表彰台に立った陸上競技部所属の鈴木一葉さん(文英2)。

陸上の強豪校として知られる埼玉栄に進学。1年生の時からインターハイに出場するなど、華々しい活躍を見せた。

「陸上が強い大学にAO入試で進学し、競技を続けるつもりでした。しかし、第一志望の大学に落ちて、失意のどん底に。これまでの人生を否定されたような気持ちで、上を始め、その負いん気の強さを

た。そこで、昔から興味があった国際協力など世界を舞台に働くことを新たな目標に、浪人を経て上智に進学しました」

21年に文学部英文学科に進学した鈴木さんは、興味のある文学や語学などの授業を履修し、キャンパスライフを楽しんでいた。一方で、これまでの生活の一部だった陸上がすっぱりと無くなったことに物足りなさを感じてきたという。一度は陸上をやめると決心したところ、そして2年近くにもおおよぶブランクが競技再開の大きな障壁になっていった。その上、コロナ禍で興味のある海外への渡航の目途も立たず、悶々とする日々が続いた。

「何もせずにただ時間が過ぎていくのはもったいない。今できることに全力でチャレンジをすれば、必ず道は開ける」

そのように気持ちを切り替えてからは、陸上競技部の練習にも少しずつ顔を出すようになった。先輩の後押しもあり、気が付けば再び陸上漬けの日々が始まっていた。学業のかたわら、週5回の猛練習の甲斐あって、関東インカレで再び表彰台の座を勝ち取った。

「目標にしていたインカレの舞台で成果を出せたことは嬉しく思いますが、一方で、入学当初から抱いていた国際舞台で働くという夢も叶えたい。8月からは交換留学

12の課外活動団体が集合 サステナビリティフレッシュマンデー SDGsに関連する活動を紹介



5月25日、アクティブコモンズにてサステナビリティ推進本部主催の「サステナビリティフレッシュマンデー」(Sフレッシュマンデー)が開催された。

SDGsやサステナビリティに関連する課外活動団体12団体が集結し、活発な意見交換が行われた。

会場には、課外活動団体のメンバーから直接説明を受けられるブースと、各団体による活動実績の発表エリアが設けられた。参加した学生は、団体メンバーの説明に熱心に耳を傾け、意見交換をする様子も見られた。冒頭、副部長の森下哲朗グローバル推進担当部長から挨拶があり、「このイベントをきっかけに、サステナビリティへの取り組みが業務について紹介をしながら、参加者との活発な質疑応答が展開されるなど、盛り上がりを見せた。」と語った。

学生職員のみならず、同本部で学生職員として働く在学生が自身の業務についての紹介をしたほか、参加者との活発な質疑応答が展開されるなど、盛り上がりを見せた。

35年ぶりの快挙

体育会ゴルフ部女子チーム優勝

Bブロック昇格へ

5月7日と8日に栃木県杉ノ郷カントリークラブにて、2022年度関東女子大学春季Cブロック対抗戦が行われ、本学体育会ゴルフ部女子チームが優勝した。ゴルフ部女子のCブロック優勝は3シーズンぶりで、悲願であった35年ぶりのBブロック昇格を果たした。

Cブロック参加校の青山学院大学、学習院大学、獨協大学、聖心女子大学、東海大学と対戦し、2位と31打差という大差をつけての優勝となった。また、中村珠利香さん(経営4)が4季連続最優秀選手に選ばれた。ゴルフ部女子主将の高崎綾乃さん(外独4)は「代表となった選手全員がベストを尽くした試合となりました。Bブロックでは、レギュラー登録人数も6名となり、コースの距離も長くなり、これまでより厳しい環境にはなりません。上智大学ゴルフ部にはBブロックでも活躍で

UP 上智大学出版

新刊紹介

『ヴェルサイユ体制対ケインズ』平井俊顕著

現代経済学の巨人・ケインズは、第1次世界大戦中は英国の大蔵省官僚であり、パリ講和会議には大蔵省首席代表として参加したものの、連合国の対独賠償要求に反対して辞任する。ケインズがその後のヴェルサイユ体制に對してどのように対峙したのか。政策立案者、政治経済評論家、説得活動家、ジャーナリストとして展開した広範囲にわたる活動を、一次資料を丁寧に読み解きながら考察する。(4200円+税)

全国主要書店および伊國屋書店上智大学店で販売中。

All Sophians' Festival 2022 3年ぶりの対面開催が復活

5月29日、上智大学ソフィア会(同窓会)主催「All Sophians' Festival 2022」が、YouTube配信との併催で3年振りに対面開催された。来場者、視聴者の数は延べ1万人を超え、四谷キャンパスが卒業生と在学生で賑わいを見せた。



メインストリートには模擬店が並び、野外ステージではダンス、バンド演奏、ファッションショーなど華やかなパフォーマンスが繰り広げられた。屋内ではシンポジウム、講演会、展示会、寄席のほか、著名な卒業生から書や食事券などの出品があった。また同時開催された同窓会や課外活動団体の同窓会など、感染対策を施して対面企画が復活し、来場者は世代を超えた交流を楽しんだ。

当日、四谷キャンパスに來校できない卒業生のために、昨年引き続き2つのYouTubeチャンネルからさまざまな企画が同時配信された。

野外ステージ企画も復活し、会場は大いに盛り上がった。

主要企画として、1チャンネルでは、Sophia未来基金のためのチャリティーオークションが行われ、細川護熙元相のほか、著名な卒業生から書や食事券などの出品があった。また同時開催された同窓会や課外活動団体の同窓会など、感染対策を施して対面企画が復活し、来場者は世代を超えた交流を楽しんだ。

当日、四谷キャンパスに來校できない卒業生のために、昨年引き続き2つのYouTubeチャンネルからさまざまな企画が同時配信された。

野外ステージで行われた

新型コロナウイルス流行に伴う本学の対応について

新型コロナウイルスが依然として世界各地で流行しています。本学でも新型コロナウイルス対策本部を設置し、学生・教職員の健康と安全を守り、また、流行を抑制する社会的な責任を果たすため、さまざまな対策を講じています。

大学からの情報は、本学公式ウェブサイトに掲載しています。大学の対応、諸日程や施設利用の変更など、常に最新の情報をご確認ください。また、学生の皆さんはLoyolaや電子メールを定期的に確認し、授業や学生生活に関する最新情報を得るように心掛けてください。

◆大学からの情報は、以下 URL に掲載しています。

https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/2020_coronavirus.html